

遊便

遊便（第9号）
発行：医療法人 仁風会
発刊日：平成27年10月1日

巻頭言

第1病棟看護師長 木村 美和子

各地で記録的な猛暑が続いた夏も終わり、日ごとに秋も深まってまいりました。

今年度、八雲病院では理事長・病院長として角南真が新たに就任しました。「こころの声を大事にします」という法人の理念は変わることなく、より質の高い医療や福祉サービスが提供できるよう、気持ちも新たに新体制でのスタートとなりました。

そして、八雲病院周辺の環境も大きく変わろうとしています。国道432号大庭バイパスを軸とした土地区画整理事業が始まり、田んぼだった所が道路になり、周辺には新しい商業施設が立ち並び始めました。慣れ親しんだ景色がどんどん変わり、少し寂しい気持ちもありますが、新しい時代への流れを楽しみにしているところもあります。

また、精神科医療でも大きな転換期を迎えています。入院医療中心から地域生活中心へと移行するよう国の方針が打ち出され、さまざまな施策が取られるようになりました。近年、退院支援・退院調整の取り組みが具体的に広がっています。

さて、私の勤務している精神科療養病棟では、長期間の治療や療養が必要な方が入院されています。作業療法や日常生活に必

要なスキルの訓練など、個々の目標に沿ったプログラムを行っている病棟です。患者さんの中には、長い入院生活の間に加齢や身体疾患の併発なども加わり、地域での生活に戻ることへの不安から、精神的な不調が再燃する方も少なくありません。そういった患者さんが再び希望を持って治療に取り組めるように、支援を続けていくことが私たちの大きな役割だと思っています。退院を目標にして頑張る様子を見たり、前向きな気持ちへの変化を感じられることが、看護師としての大きな喜びでもあります。

そして、退院された患者さんが、私たち病棟スタッフを見ると元気に声をかけて近況を話してくださいます。入院生活とは違い、生活力を高め、いきいきと地域生活を営んでおられる話を聞くことは本当にうれしいものです。

最後になりますが、患者さんがその人らしく生きていけるために、私たちに求められていることは何かを常に模索しながら、今後も努力していきたいと思っています。

遊便第9号…もくじ

巻頭言	1
特集 シリーズ 認知症のGHケア	2
ミニクイズ	3
あじさいの会 活動報告	4
たまごさん からのお便り	4
地域連携を考える	5
TVの寄贈について	5
法人アクセス	6



特集 シリーズ
認知症のGHケア

認知症対応型共同生活介護
～グループホーム
雲陽の里での生活～
所長 花田 智恵子

グループホームは少人数の家庭的な雰囲気の中で共同生活をしながら、顔なじみのスタッフから日常のケアを受けることで認知症の緩和を図ることを目的としています。

対象となるのは要支援2以上の介護を必要とする認知症と診断された方で、少人数による集団生活を送るのに支障のない方となっています。認知症であっても、「自分らしく」「自分の力を存分に発揮しながら」「なじみの地域の中での尊厳のある暮らし」の実現を目指しています。

雲陽の里は医療法人の中であって、唯一介護保険の施設であり、治療でも訓練でもない生活の場です。ご家族のご意向やご本人の思いを伺い、何が出来ていて何が出来ないのか、習慣にしている事は何なのか、能力的には出来るのに

今はやれていない事は何なのか、またどうすればそれが出来るのかを観察しながら、お一人お一人にあった介護計画を基に各方面との連携をとりながら日々の生活のお手伝いをしていきます。

役割としてやって頂ける事はないか、出来て少し得意になれる事はないか、皆で考えながら、気づいた事から普段の生活の中に取り入れていき、施設での生活に満足感をもって頂ける努力をしています。

それでも単調になりがちな日々のなかでは、時に不安になる方もあり、少しでも楽しみをもって頂きたいと、各方面のボランティアの方々にもご協力をお願いしています。

昔懐かしい紙芝居やハーモニカ演奏、着物姿の踊りや、かわいい犬たちとのふれあいのアニマルセラピーなど、自然と表情がやわらぎ笑顔がこぼれます。しかし、これもご家族が来所された時の表情にはかたないません。面会に気づいてとても嬉しそうな笑顔になる方、普段はあまり動かせないのに玄関



セラピー犬に皆さん大喜び

まで見送りに出て、タクシーの運転手さんに「よろしくお願ひします」と帰るご家族の心配までされる方もいらっしゃいます。認知症のケアはチームでの取り組みが必要です。介護職や医療職、そして何より、ご家族のご理解とご協力が不可欠です。ともすれば退屈に思われがちなグループホームでの生活が、よりよきものになるように、身近なご家族のお力添えをお願い致します。



桜を楽しみつつお茶を一服



サツマイモ、今から収穫が楽しみです

雲陽の里紹介

当施設は、家庭的な雰囲気の中でご利用される方の人生の経験や能力を最大限生かしながら生活できる事で、認知症の進行を緩やかにする事を目的に生活をおくって頂いております。

○定員：9人
(全部屋個室、2人で2室が利用できるお部屋もあります)

○職員体制：管理者、介護計画作成担当者、介護職員（計7人）

○利用対象者：要支援2～要介護5に認定され、中程度の認知症患者を有し、次のいずれにも該当する方。

- ①家庭での介護が困難な方
- ②おおむね自立が出来ており、共同生活を送るのに支障のない方

○サービス内容：

- ①介護計画作成
- ②食事
- ③入浴
- ④介護
- ⑤レクリエーション
- ⑥相談援助サービス
- ⑦その他

日課などは決まりがありませんが、利用される方の選択と自己決定が優先され、自由な生活を送ることが出来ます。個々の生活リズムに配慮しながら対応し、能力を生かした援助をおこなう事で張り合いのある生活の場を提供しています。

○健康管理について：通院などが必要になった場合、ご家族の方に連絡しますのでかかりつけの病院への受診をお願いしております。ご要望があれば当施設の協力医療機関でも対応させて頂けます。協力医療機関：八雲病院

○面会・外出・外泊について：面会時間は自由です（ただし安全管理上、玄関は夜8時から朝7時まで施錠させて頂いております）。外出・外泊は原則自由ですが、事前に職員にご相談頂くようお願いしております。ご家族の方が雲陽の里に宿泊することもできます。

○料金について
お問い合わせください。

Tel 0852-23-3700
(担当：花田)



今回はマナーや接遇に関するクイズを集めました。

かおるさんのミニクイズ

- 1 職場の上司と食事に行くことになりました。好きな物を注文してよいと言われたら何をオーダーしたらよいでしょうか？1-3からお選びください。
 1. 一番高いものを選ぶ
 2. 一番安いものを選ぶ
 3. 中間ところを選ぶ
- 2 タクシーに乗車する際、上座の席はどこでしょうか？社用車の場合、上座の席はどこでしょうか？
- 3 私は階段を下りていたところ、下から上司が上がってきました。どこで挨拶すればよいでしょうか？1-3からお選びください。
 1. 姿を見た時に遠くからでも挨拶する
 2. 上司と並ぶ時まで歩き続ける
 3. 上司が気付いたら軽い会釈3~4段のところまで待機する

(答えは4ページ下)



2病棟リハ活動作品
「ひまわり」

あじさいの会

あじさいの会とは、八雲病院に通院中の患者さんと職員が自主的に集まり、イベント等を計画して、それを通じて「友達の和」を広げて行きたいというソーシャルクラブ（外来患者さんの交流会）です。

初夏の日に笑顔 あふれたドッジビー

6月7日の日曜日に、今年度最初のあじさいの会を企画し、軽スポーツであるドッジビーをサンレイクで行いました。

このドッジビーは、ボールのかわりに柔らかいディスクをドッジボール形式で投げ合うというスポーツです。

こう聞くと簡単そうに聞こえますが、実際にやってみると、なかなか狙い通りまっすぐに飛んでい

てくれません。

相手チームの投げたディスクを見事にキャッチして、当てるチャンスだと思って投げても、コートの外に飛んでいってしまうことがあります。

逆に、簡単に取れそうなディスクの軌道が急に変わってしまい、キャッチできないという事もあります。

外野の選手の応援を受けながら、内野ではコートの中をディスクに当たらないように常に動き回り、ゲーム中は笑い声があふれてとてもにぎやかでした。

「疲れたけれど楽しかった」と

の感想を頂きました。

あじさいの会は色々な企画をしますので、興味を持たれた方はぜひ一度参加してみてください。

(荒内)



初めてだけど、楽しかったです！

たまごさんからの お便り

実際に会うことで 自分たちの成長へつながった

島根県立大学看護学部・松江高等看護学院

7月9日、島根県立大学看護学部3年生6人と、同日松江高等看護学院の看護学生3人が来所され、精神科デイケアたんぼぼ、自立訓練施設コスモス、八雲会作業所、地域活動支援センタービ・フレンドリングを見学されました。

精神科病院から退院された方々を地域で支える事業所で、直接利用者の方たちと話をしてもらったり、事業所の説明を受けられました。以下は学生の方の感想です。
(森脇)

先日は、精神施設訪問においてご多忙中にも関わらず丁寧なご指導を頂き、誠にありがとうございました。施設訪問を通して、精神障がい者という一つのくくりでとらえ関わるのではなく、地域で暮ら

す生活者であり、一個人として接していくことが大切だと気付かされました。さらに、授業だけで学ぶのではなく、実際に目で見て触れて肌で感じることで、自分の成長につながりました。

施設訪問前は、精神疾患がある人へのマイナスなイメージを持っており、どう接していけば良いのか戸惑いました。ですが、通所される皆さんがいきいきと素敵な笑顔で私たちに接して下さり、そのことが精神疾患がある人に対する私たちのイメージが変化するきっかけとなりました。大変有意義な時間を提供して頂き、本当にありがとうございました。

(島根県立大学看護学部6人)

利用者間でトラブルもあると聞

きました。小さな社会がデイケアや施設の中で形成されており、社会に出るための訓練ができていたのと感じました。

コスモスやビ・フレンドリングではボランティアの方や職員が食事を作っており、生活の中の温かさを感じました。

それぞれが、自立した生活に繋がる訓練や生きがいの場所になっているということがよく分かりました。

(松江高等看護学院3人)



3ページクイズの答え 1→3 2→タクシーは運転席後ろ。社用車は助手席。 3→3

地域連携を 考える

7月4日、地域活動支援センター ビ・フレンドリングにおいて、家族交流会が開催されました。

例年、夏と冬に年2回開催していましたが、今年度は回数を減らす代わりに参加者の方への周知徹底を強化することを目標にかけ、今回限りの開催となりました。そのおかげで、多くのご家族に参加頂き、さまざまなご意見、ご感想を頂くことが出来ました。

これまでの家族交流会は、

①テーマに沿った寸劇鑑賞
②グループに分かれての懇談会というスタイルでしたが、今回は形を変えて、

①ご家族の体験発表
②グループに分かれての懇談会というスタイルで交流頂きました。下記は参加された方の声です。

- ・寸劇がなかったので参加してみようと思った。
- ・お互い状況は異なるものの、お

互いのつらさやしんどさを分かち合えることが出来て、とてもよかった。

・色々な方の話を伺うことが出来てとても参考になった。自分一人が大変な思いをしているのではない、ということを知る事が出来た。
(森脇)



参加者みんなで合唱 2015 第17回サマーコンサートを開催

8月21日に、第17回となるビ・フレンドリングでのコンサートを行いました。

7月に予定していましたが、台風での天候悪化のため延期をしての開催となり、地域の方も含め、多くの皆さまにお越しいただきあり

がございました。

演奏以外にもビ・フレンドリングのレザークラフトの製品、まるベリーのパンなどの販売もあり、楽しんでいただけたのではないかと思います。
(貝谷)



「ひまわりの約束」を
熱唱するびふれコーラス隊

テレビの寄贈について

4月28日に、山陰合同銀行「ごうぎん一粒の麦の会」より、



テレビと目録を受け取る
角南理事長(右)

外来待合室のテレビを寄贈していただきました。

「ごうぎん一粒の麦の会」は、山陰合同銀行とその関連会社の役職員の皆さまが募金を行い、地域社会への感謝の気持ちを表すために奉仕していくことを目的とした会です。

春先に、山陰合同銀行古志原支店さまより、患者さんの治療・療養の一助になる物品を寄贈いただけるといったお話をいただきました。思いもよらぬお話でしたが、多くの患者さんを対象に、療養・受診環境の改善につな

がるものとして、今まで設置していなかった外来待合室のテレビの購入に充てさせていただくこととし、設置をさせていただきました。

設置以来、多くの外来患者さんの通院やご家族の待ち時間の気分転換の手助けとなっております。

「ごうぎん一粒の麦の会」の皆さまにお礼申し上げますと共に、この紙面でのご報告といたしました。

(田中)



わたくしたちは心の声を大事にします
わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

医療法人 仁風会

○八雲病院外来診療時間午前中のみ

平日8:30-12:30/土 8:30-12:30

休診日…日曜日、祝日、お盆、年末年始

松江市大庭町1460-3

電話(0852)23-3456(代表)

FAX(0852)23-3495

・デイケアたんぼぼ(精神科デイケア)

※お問い合わせは代表まで

月曜日-金曜日 午前9:30-午後3:30

・デイケア八雲(重度認知症デイケア)

※お問い合わせは代表まで

月曜日-金曜日 午前9:00-午後3:40

○コスモス(自立訓練【生活訓練】事業所)

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3360

FAX(0852)23-3370

○ピ・フレンドینگ(地域活動支援センター・相談支援事業所)

松江市大庭町1461-3

電話(0852)23-4111

FAX(0852)23-4112

○雲陽の里(認知症グループホーム・介護保険)

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3700

○居宅介護支援事業所 医療法人 仁風会 八雲病院

※お問い合わせは代表まで

ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・ご感想などございましたら、ぜひ下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会、広報誌「遊便」共々よろしくお願ひ致します。

〒690-0033

松江市大庭町1460-3

(医)仁風会 広報委員会

0852-23-3456 まで

編集後記

八雲病院では、毎年夏に省エネのため、幾つかの部署でゴーヤーを育て、緑のカーテンを作っています。最初は小さかった芽が、ぐんぐん育ち、窓を覆うほどの立派なカーテンになるのは圧巻です。

今年の夏も、猛暑に関わらずゴーヤーは見事に成長し、病院を涼ませてくれました。

不思議なもので、夏が過ぎてしまうと、あの暑さを恋しく感じてしまう、今日この頃です。

広報委員 浜岡

【ご案内】

